

第2回 2009年11月7日 (土)

時 間	13:00~14:30
講演題目	ブロニスワフ・ピウスツキの生涯
講 師	関西外国語大学 国際言語学部 教授 井上 紘一 ▶ 講師の紹介はこちら
講演内容	<p>ブロニスワフ・ピウスツキ (1866-1918) はリトワニア生まれの人類学者です。ロシア皇帝暗殺未遂事件に連座してサハリン島へ流され、少壮期の19年をロシア領極東で過ごすことを強いられました。彼はその間、アイヌ、ニヴフ、ウイльтаなど北東アジア先住民の研究に従事して、すぐれた研究成果を残しています。しかし、ヨーロッパ帰還後も不遇で、膨大な成果の公刊を果たすことなく、第1次大戦中のパリで客死しました。</p> <p>私は学生時代に、無名無冠のピウスツキと文献上で遭遇して以来、彼の業績を発掘・公刊し、然るべく評価を与える仕事に携わってきました。そのためには彼の生涯を知悉することが不可欠ですが、半世紀を経てようやくその全体像を見通せるようになりました。</p> <p>今回は、4度に及ぶ日本滞在を含む極東時代 (1887-1906) を中心に、ピウスツキの生涯を紹介させていただきます。なお、亡国ポーランドの「再興の父」として世界史教科書にも登場するユゼフ・ピウスツキは彼の実弟です。</p>

時 間	14:45~16:15
講演題目	赤ちゃんは何を聞いているの? —音楽と聴覚からみた乳幼児の発達—
講 師	同志社大学 赤ちゃん学研究センター/大学院心理学研究科 教授 呉 東進 (ごうとうしん) ▶ 講師の紹介はこちら
講演内容	<p>あるCMソングが聞こえてくると赤ちゃんが泣きやむというので、数年前から大変な話題になっています。</p> <p>CDになって発売されたり、携帯電話の着メロに使われたりして、実際に赤ちゃんがぐずって困ったときに使われているようです。重宝しているお母さんもいるそうです。</p> <p>どうして赤ちゃんが、この「ピアノ売ってちょ〜だい」というCMソングを聞いて泣きやむのでしょうか。この謎に迫りながら、赤ちゃんと言や音楽のかかわりを、医学、発達心理学、脳科学、霊長類学などの幅広い分野の新しい研究成果を踏まえてお話しします。</p> <p>人が生まれながらに持っている能力は、人の最も基本的な機能です。赤ちゃんや子どもだけでなく、障害者や高齢者など、全ての人に共通の礎石となるものです。その意味で、赤ちゃんと言の関係を知ることは、単に赤ちゃんや子どもとかわかるときのヒントになるだけでなく、全ての年齢の人とのコミュニケーションに役立つことと思います。</p>